

《学校教育目標》 ○思いやりのある子 ◎自ら学ぶ子 ○たくましい子



校
報

あしっこ

立川市立第九小学校

校長 菊池 修

立川市上砂町2-18-1

TEL042-536-2231

平成31年度 8・9月

2学期のスタートです

校長 菊池 修

夏休みが終わりました。7月の水泳期間では熱中症指数が「危険」レベルとなり、中止にしたこともありました。気候がずいぶんと変わってきているようです。1学期の頃は、例年に比べ梅雨が長く授業での水泳ができない日が多くありました。梅雨があけるとすぐに猛暑が始まり暑さで夏季水泳ができないという状況になってしまいました。子どもたちからすれば、「いつプールに入ればいいのか?」といった感じでしょう。年々熱中症になる人が増えているとのこと。気候の変化を感じます。

さて、今日から2学期が始まりました。長い休みを使って、お出かけをした子、自分の好きなことに打ち込んだ子、目標に向かって努力した子、楽しい思い出を作った子様など一人一人にとって充実した夏休みになったことと思います。2学期は、3つの学期の中で一番日数が多くあります。運動会をはじめとした行事もあります。また〇〇の秋といったようにいろいろなことに取り組むのに充実した時期となります。お子様の成長のために保護者・地域の方々にご協力をいただくなかで教育活動を充実させていきたいと思っております。

この夏休み、テレビ等でスポーツを観る機会が多くありました。中でも注目されたものとしては、ゴルフの全英オープンで優勝した渋野日向子選手、全国高校野球大会での石川県代表星稜高校の奥川恭伸選手がいました。新聞やニュースでもこの2人の名前はよく目にされた方が多いのではないのでしょうか。どちらの選手も、想像以上の努力をされて優勝・準優勝といった成果をあげられたわけですが、報道等で出てくる共通のキーワードは「笑顔」です。渋野選手は、いよいよ優勝がかかってくる最終段階のコースでも笑顔いっぱいの表情でコースを回っていました。奥川選手は、ものすごい暑さ、そしてその中での熱投でも笑顔を見せて、仲間にも気を配っていました。世界大会、全国大会といった、夢のような大舞台で緊張感というのは、見ている人には想像できないものであると思います。周りの人、テレビを見ている人の期待というものも大きいのしかかっていると思います。その上での「笑顔」。見ている人たちも、プレーのすばらしさと同様にその姿に感動しました。

「笑顔」が振りまく効果というものがたくさんあるそうです。精神的にも、医学的にも、そして周りの人に与える影響としてもたくさんあるそうです。

これから始まる2学期、子どもたちの「笑顔」がたくさん見られるように、九小の教職員がたくさん「笑顔」を振りまくことができるように、そして保護者・地域のみなさんも「笑顔」が増えていく学校になるように努力してまいります。今学期も、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。